首都圏広域地方計画中間整理の目次構成

平成20年10月

序　章　計画策定の意義

（1）計画の意義　　（2）計画の位置付け
（3）計画の対象区域　　（4）計画の期間

第１章　首都圏を取り巻く諸状況と課題

第１節　首都圏を取り巻く諸状況と地域特性

1．地勢
2．人口・土地利用
3．経済・産業　(1)経済　(2)産業
4．暮らし
5．水資源・エネルギー
6．環境
7．災害
8．交通・情報通信基盤　(1)交通　(2)情報通信
9．新たな公
10．首都圏の地域特性
　(1)雇用圏域　(2)生活圏、都市的サービス
　(3)地域の産業特化度

第２節　時代の潮流から見た首都圏の課題

（1）グローバル化の進展への対応
（2）少子高齢化社会の到来への対応
（3）安全・安心に対する国民意識の高まりへの対応
（4）地球温暖化等の環境問題への対応
（5）ライフスタイルの多様化への対応
（6）地域の特性を踏まえたきめ細かな対応

第２章　首都圏の果たすべき役割と目指すべき方向

第１節　首都圏の果たすべき役割

（1）東アジア・世界のリーディング圏域としての役割
　（世界に開かれた国際ビジネス拠点）
　（エネルギー・環境関連の技術・ノウハウの先進地域）
（2）日本の首都中枢機能を有する圏域としての役割
　（日本経済を牽引する成長エンジン）
　（多様な情報発信・情報交流を推進する世界に対する日本の顔）
　（首都中枢機能の安全で持続的な維持）
　（全国の産業の発展に寄与する巨大市場）
（3）約4,200万人の多様な人々が暮らし、働く場としての役割
　（安全・安心な暮らしを実現する圏域）
　（良好な環境と暮らしが共生する美しい圏域）
　（豊かで多様なライフスタイルが実現できる圏域）
　（「新たな公」による地域づくりを推進する圏域）

第２節　新たな首都圏の目指すべき方向

方針１　日本全体を牽引する首都圏の国際競争力の強化
（1）イノベーションの創出
（2）太平洋・日本海ゲートウェイ機能の強化
（3）国際ビジネス拠点としての都市環境整備
（4）地域を支える産業の創出

方針２　人口約4,200万人が暮らしやすく、美しい地域の実現
（1）新たな圏域構造の構築
（2）活力あふれる都市圏及び地域の形成
（3）生活の質の向上と良好な居住環境の形成
（4）水資源の安定的確保
（5）歴史、文化、地域資源を活用したまちづくり
（6）農林水産業の強化と農山漁村の活性化

方針３　安全で安心な生活が保障される災害に強い圏域の実現
（1）地震・津波対策の推進
（2）風水害・高潮・土砂災害・豪雪対策等の推進と地球温暖化に伴う影響への対応
（3）火山噴火対策の推進
（4）危機管理体制の充実

方針４　良好な環境の保全・創出
（1）先導的な地球温暖化対策の推進
（2）森林・農地の整備・保全
（3）水と緑の保全と活用
（4）循環型社会の形成
（5）大気・土壌汚染対策の推進

方針５　多様な主体の交流・連携がより活発な圏域の実現
（1）観光交流の強化
（2）都市・農山漁村の交流・連携
（3）多文化共生社会の実現
（4）「新たな公」による地域づくり

第３章　新しい首都圏の実現に向けた地域の戦略

第１節　日本全体を牽引する首都圏の国際競争力の強化
（1）イノベーション創出プロジェクト
（2）太平洋・日本海ゲートウェイプロジェクト

第２節　人口約4,200万人が暮らしやすく、美しい地域の実現
（3）ｗｅｂ（蜘蛛の巣）構造プロジェクト
（4）少子高齢化に適合したすべての人にやさしい地域づくりプロジェクト
（5）利根川・荒川おいしい水プロジェクト
（6）日本の顔づくりプロジェクト
（7）五街道・歴史街道魅力アッププロジェクト
（8）農山漁村の活性化プロジェクト

第３節　安全で安心な生活が保障される災害に強い圏域の実現
（9）大規模地震災害対策プロジェクト
（10）風水害対策プロジェクト
（11）火山噴火災害対策プロジェクト

第４節　良好な環境の保全・創出
（12）地球温暖化対策プロジェクト
（13）森林・農地保全推進プロジェクト
（14）南関東水と緑のネットワーク形成プロジェクト
（15）みんなの尾瀬を　みんなで守り　みんなで楽しむプロジェクト
（16）泳げる東京湾・水環境再生プロジェクト
（17）泳げる霞ヶ浦・水質浄化プロジェクト
（18）循環型社会形成推進プロジェクト
（19）南関東大気汚染対策プロジェクト

第５節　多様な主体の交流・連携がより活発な圏域の実現
（20）広域観光交流推進プロジェクト
（21）地域間交流・二地域居住推進プロジェクト
（22）北関東多文化共生地域づくりプロジェクト
（23）富士箱根伊豆交流圏プロジェクト

第４章　計画の効果的推進

1．他の計画との整合・調整　2．計画のフォローアップ　3．「選択と集中」に基づく効率的な施策展開　4．国土基盤ストックのマネジメント　5．計画の見直しと残された課題への対応

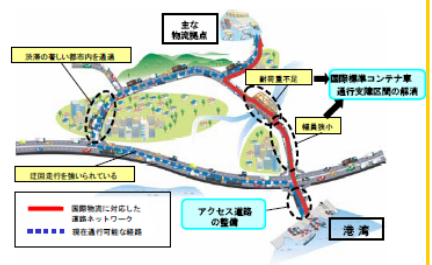
首都圏広域地方計画中間整理（H20.10）～　プロジェクトのイメージより抜粋

港湾・空港アクセス及び陸上交通網の整備、改善

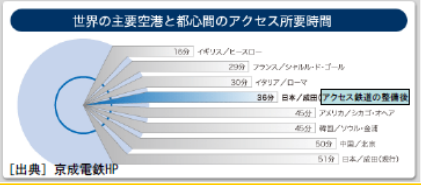
ⅰ．道路ネットワークの整備と渋滞対策
・高規格幹線道路の整備
・地域高規格道路等の整備
・国際標準コンテナ車の通行支障区間の解消　等

ⅱ．鉄道の整備、改善
・空港アクセス鉄道の整備、改善　等

国際物流に対応した道路ネットワークのイメージ

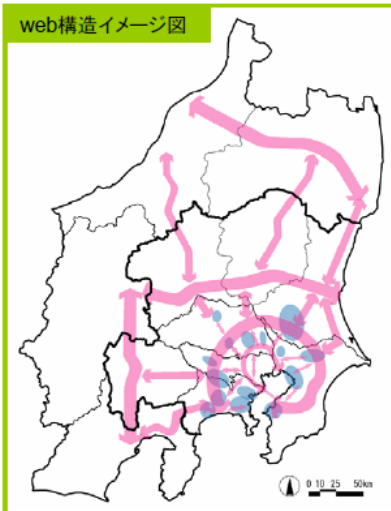


世界の主要空港と都心間のアクセス所要時間



［出典］京成電鉄HP

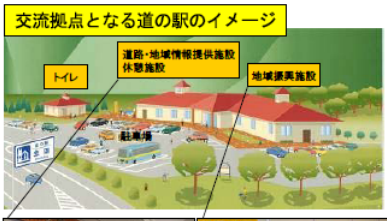
web構造イメージ図



都市と農山漁村との交流拡大

・交流拠点の整備
・子ども農山漁村交流プロジェクト
・グリーンツーリズムの取組みの推進　等

交流拠点となる道の駅のイメージ

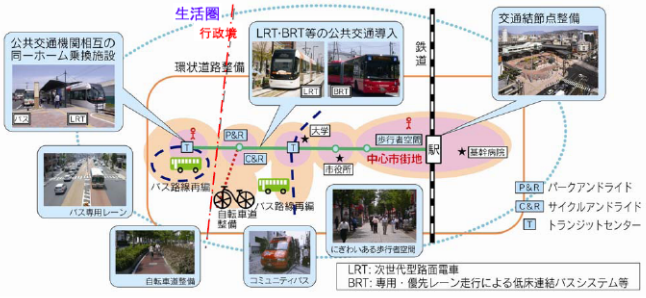


観光案内所　　地元特産物の販売

持続可能な地域交通体系の構築と周辺市町村との一体的生活圏の形成

・バス、鉄軌道等の活性化及び再生
・新交通システム、都市モノレールの整備
・コミュニティバスの導入　等

総合的な交通連携の施策・事業の展開イメージ



首都圏広域地方計画中間整理（H20.10） ～ プロジェクトのイメージより抜粋

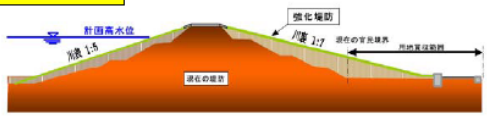
大規模水害対策

ⅰ．治水施設の整備
- 堤防強化対策の推進
- ダム等の整備
- 多目的遊水地の整備　等

ⅱ．自然保水力の向上
- 森林整備・保全　等

ⅲ．地域防災力の向上
- 水防体制の強化
- 洪水ハザードマップの作成、避難誘導体制の確保　等

堤防強化のイメージ



水資源の確保

- ダム等の整備
- 既存ダムの維持管理、容量配分調整
- 森林の整備・保全　等

ダムの整備の例

既存ダム間の容量配分調整（ダム間連携）

高潮対策

- 海岸保全施設の整備
- 高潮ハザードマップの作成、避難・救援体制の整備　等

外壁防波堤
水門等

東京湾のゼロメートル地帯と高潮対策施設

基幹的広域防災拠点

水辺空間の保全・創出

- 多自然川づくりの推進、自然再生事業の推進
- 親水性の高い港湾護岸の整備
- せせらぎ水路等への下水処理水の活用　等

川の再生の例

（埼玉県　鴻巣市　元荒川）

せせらぎ整備の例

（神奈川県川崎市）

潤いのある水辺空間の創出

- 湖沼植生帯の再生
- 緑地の保全　等

湖沼植生帯（ウェットランド）